

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300213
事業所名	グループホーム 扶桑苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームと併設の特別養護老人ホームは住宅地から離れた場所に建っているため、日常的に地域住民との繋がりはない。しかし、地域で行われる「歩こう会」や夏祭りの盆踊りには、毎回参加し交流を図っている。また、秋祭りには子ども神輿が敷地内のロータリーまで来てくれる。中学生の職場体験の受け入れや月2回日本赤十字支部のボランティアの訪問があり、歌や作品作りなど利用者の楽しみとなっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族代表・区長・扶桑町役場介護健康課職員・地域包括支援センター職員・知見を有する方の参加を得て、おおむね3ヶ月に1回開催している。会議では現状報告とラミネート写真やプロジェクターを使用している活動報告・事業計画進捗状況・情報交換など行っている。メンバーから地域の情報を得て、サービス向上に活かしている。また、会議の後第2部としてクリスマス会の行事に参加して、利用者と一緒に食事やフォトムービーの上映をして、利用者の様子も見てもらっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 役所には運営推進会議の案内を持参している。しかし、長年管理者は町の高齢者保健福祉総合計画の委員を務めているため、協力関係は築かれている。地域包括ケアシステムの構築のひとつとして、医療機関と介護福祉機関の連携強化を図る研修会に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 春祭りに家族会を開催し、現状報告・年間行事予定・意見交換など行い、その後利用者と一緒に食事会を行った。職員は家族の面会時に必ず利用者の様子を伝え、その際意見や要望を聞くよう心がけている。出された意見などはリーダーに伝え、申し送りノートに記入し情報を共有している。毎月グループホーム新聞（予定表・写真・生活の様子）で日常の様子を家族に伝えている。また、春と秋に法人誌（だいこんの花）と夏と冬に広報誌（だいこんの種）も発行している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ × ○
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	×	×	×	×				